

東北大学発スタートアップ企業への融資実行について (株式会社Piezo Studio ピエゾ スタジオ)

株式会社七十七銀行（代表取締役頭取 小林 英文）は、東北大学発スタートアップ企業である株式会社Piezo Studio（本社：宮城県仙台市青葉区、代表取締役 木村 悟利、以下「当社」）に対し、研究・開発および事業拡大に向けた支援の一環として融資を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、多様化する経営ニーズに対し、適切なソリューションを提供することにより、お取引先企業とともに地方創生の推進に取り組んでまいります。

記

1. 内 容

当行は、AIデータセンターの光トランシーバー等に用いられる当社の水 晶 発 振 IC の すいしょうはっしん製品化を支援すべく、当面の研究開発費等の運転資金として融資を実行いたしました。また、今回の融資は、当行が有限責任組合員として出資している「THVP-2号投資事業有限責任組合」を運営する東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社（本社：宮城県仙台市青葉区、代表取締役社長 佐藤 耕司）の投資と協調して行いました。

2. 当社概要

当社は、2014年12月に東北大学発スタートアップ企業として創業し、あらゆる電子機器に必須の基準信号を生成する電子部品である振動子や発振器等のタイミングデバイスのほか、SAWデバイスを含む通信機器向けデバイスの研究開発を行っています。また、高エネルギー加速器研究機構の宮原正也教授との共同研究により、超低位相ジッタ（※）でかつ超低消費電力の水晶発振ICを開発しました。

近年、AI市場の加速度的な成長により、AIデータセンターの増設が進められています。AIデータセンターの光トランシーバー等に当社の開発した水晶発振ICを用いることで、より高速かつ大容量な通信の実現が期待されます。当社は現在、水晶デバイスメーカー等数社の協力のもと、世界最小クラスの超低位相ジッタ水晶発振ICの製品化を予定しております。

※位相ジッタ：信号のタイミングのずれ

企 業 名	株式会社Piezo Studio（ピエゾスタジオ）		
本 社 所 在 地	宮城県仙台市青葉区一番町1丁目4-1		
設 立	2014年12月	資 本 金	59,992千円
事 業 内 容	電子部品およびその材料の開発、設計、試作、解析、評価、製造販売、コンサルティング		
ホームページ	https://piezostudio.com/		



もっと、ずっと、地域と共に。

(参考) 商品・サービスのイメージ

- 従来の振動子材料である「水晶」を「CTGS※」に、さらに従来の発振ICを新規「コンプリメンタリー・コルピッツ回路」にすることで、低消費電力・タイミングデバイスを実現



当社のタイミングデバイスの構成図

- 当社が開発した32MHz CTGS※振動子は、新規圧電材料により「高速発振起動」と「省エネ」を実現



※東北大学と共同研究開発した新規圧電材料「CTGS ($\text{Ca}_3\text{TaGa}_3\text{Si}_2\text{O}_{14}$)圧電単結晶」



以上